

令和3年度 学校図書館基本計画(案)

足立区立中川北小学校 校長 笹原天平

1 学校教育目標

- ①進んで学ぶ子：学ぶ喜びにあふれ知性を磨く子
- ②思いやりのある子：心情豊かで思いやりのある子
- ③元気な子：心身ともに健康で最後までやり抜く子

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ①読書の楽しさ、喜びを味わわせ、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ②学校図書館の本や図書から目的に応じて必要な情報を収集し、自身の考えを深め、表現・活用できる能力を培う。
- ③学校図書館を効果的に活用し、課題解決を図ることのできる主体的な学習態度を育てる。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12096 冊（蔵書基準冊数 9960 冊） / 蔵書率 121%									
	② 新規購入図書 487 冊 / 廃棄図書 50 冊 / 増減冊数 437 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.79%	1.10%	7.69%	9.21%	14.25%	6.43%	3.91%	7.87%	3.56%	44.19%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	① 開館時間： 8：45～15：15									
	② 児童一人あたりの年間貸出冊数 42 冊（前々年度： 39.98 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 100%									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①絵本など読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、図書を利用して調べようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①朝の読書や学校図書館を使う授業で、読み聞かせをし、本に興味を持つ。 ②学校図書館を使う授業により、本を手にとる機会が増え、読書をする経験を重ねる。 ③学校図書館や地域の図書館（佐野図書館）の利用の仕方を知る。	①各クラス4回以上、読書等の授業を学校図書館にて行う。 ②朝の読書や国語の並行読書、読書月間を利用して、年間1人あたり50冊以上の本を読む。 ③佐野図書館で本を借りる体験を1回する。
第2学年	①いろいろな読み物に興味を持ち、親しみ楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ②図鑑を利用し、その内容を友達に伝えることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①各クラス月3回以上、読書や探求活動、教員・児童による読み聞かせを学校図書館で行う。 ②読書月間を利用して、年間1人あたり50冊以上の本を読む。

第3学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②資料や情報を集めるために、進んで学校図書館を活用する態度を養い、集めた情報を活用する力を育てる。 ③きまりを守って、学校図書館を利用する。	
今年度の成果目標		達成基準
①自分の好きなものや事柄をきっかけに、関連する本から読書の楽しみ方を見出し、読書する意欲を育てる。 ②辞典や図鑑等から分かったことを、相手に伝わりやすくするために図や絵、表にまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、静かに読書をする事ができる。		①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を、学校図書館で行う。 ②年間1人あたり25冊以上の本を読む。 ③本を活用して、調べる学習を国語の時間に設定する。
第4学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 様々な分野の本を読み、読書することの楽しさを味わわせ、自分の興味ある本の幅を増やしていく。 ② 辞典や図鑑から情報を収集・活用し、それらを説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をする事ができる。		① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間1人あたり25冊以上の本を読む。 ③ 調べる学習コンクールに学年児童の70%以上が参加する。
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 興味のある事柄について適切な本を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。		① 年間1人あたり25冊以上の本を読む。 ② 調べる学習コンクールに学年児童が75%以上参加する。 ③ 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
第6学年	① 読書の楽しさや有効性を実感しながら、日常生活の中で主体的、継続的に読書を行うようにする。 ② 読書によって多様な視点から物事を考えることができるようになると気づくことができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
① 興味のある事柄について適切な本を選び、読書することができる。 ② 本や新聞など複数の資料を活用しながら調べたり考えたりしたことを報告する。 ③ 読書をしながら自分を支える言葉を見つけたり今までになかった考えを発見したりする。		① 年間1人あたり25冊以上の本を読む。 ② 調べる学習コンクールに学年児童の75%が参加する。 ③ 学校図書館を利用して、共感する言葉や新しい考えに触れたことを友達に紹介する授業を行う。

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ①新しい教科書の内容に対応する図書の購入を進める。
- ②全体的に分野を問わず購入を行う。
- ③絵本、副本を移動し棚の整理を進める。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ①読み聞かせや本の紹介、図書館オリエンテーションを実施し、支援員の協働に取り組む。
- ②調べ学習や授業資料など、図書館に関することについて積極的に支援員と連携・相談を行う。

【その他】

- ①図書館マップの作成とその掲示位置を見直し、より分かりやすくする。